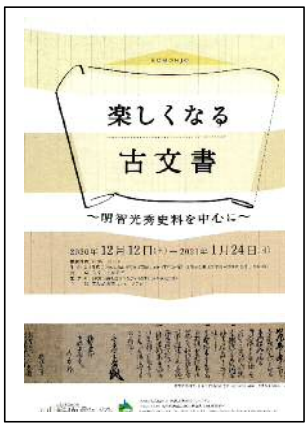
企画展　「楽しくなる古文書　～明智光秀史料を中心に～　展」



会　　期：2020 年 12 月 12 日（土）～2021 年 1 月 24 日（日）〈32 日間〉
※2020 年度 4 月 25 日から 6 月 7 日までの開催を予定していたが、
新型コロナウイルス感染拡大防止の臨時休館のため、会期を変更して
開催した。
会　　場：美術工芸展示室
展示点数：6 点＋関係解説パネル
観 覧 料：一般 200 円（100 円）　（　）は 20 名以上の団体料金
高校生以下及びかるちすとくらぶ会員 無料
入場者数：244 人

【内容】

江戸時代まで書かれていた「古文書」というものは、崩した文字が多く使われ、現代人にとっては、とても難解で縁遠いものです。むしろ外国語である英語よりなじみがないものと言ってもいいかもしれません。同じ日本の中で私たちの先人が書いていたものを、今ほとんど読み解きができないというのは不思議なことであり、残念なことでもあります。

それらの古文書は、歴史研究の上で取り扱われる、いわゆる一次資料として欠かせないもので、それを解読し他の史料と比較検討などが行われて新たな事実が解明されていきます。しかし、古文書は研究者だけのものではありません。実物の史料を通して、その内容を少しずつ読み解いていくこと、「肉筆」をじっくり観察・鑑賞することによって、当時の情景に思いを馳せ、イメージを描いていくこと、そんな楽しみを今回の展覧会を通して多くの人々に味わっていただきたいと考えます。

本展では、美濃にゆかりの明智光秀（～1582）が残した 170 通ほどの戦国史料のうち、美濃加茂市民ミュージアムが所蔵している四通の史料を中心に紹介しました。

【関連事業】

□ミュージアムトーク（当館学芸員による展示解説）
12 月 13 日（日）①11：00～11：30　参加者 13 人
②13：30～14：00　参加者 8 人　　合計　21 人

［新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった事業］
○ミュージアムフォーラム「史料から読み解く明智光秀」　12 月 20 日（日）　講師：渡邊大門氏（歴史学者）
○ミュージアムトーク　1 月 13 日（水）

【刊行物】

『楽しくなる古文書～明智光秀史料を中心に～』解説小冊子　A4 判　12 頁　200 円

【展示品】

	名称	宛先等	年代	所蔵者
1	明智光秀判物	曽祢村惣中	天正 4 年(1576)	館蔵
2	明智光秀書状	矢野弥三郎	［天正 4 年(1576)］ヵ	館蔵
3	明智光秀書状	細井戸右近	［天正 10 年(1582)］	館蔵
4	明智光秀書状	土橋平尉(重治)	天正 10 年(1582)	館蔵

5	上蜂屋村（太郎洞池）約定証文之事	太田村	元治元年(1864)	館蔵
6	同　附図	太田村	元治元年(1864)	館蔵

【参考】

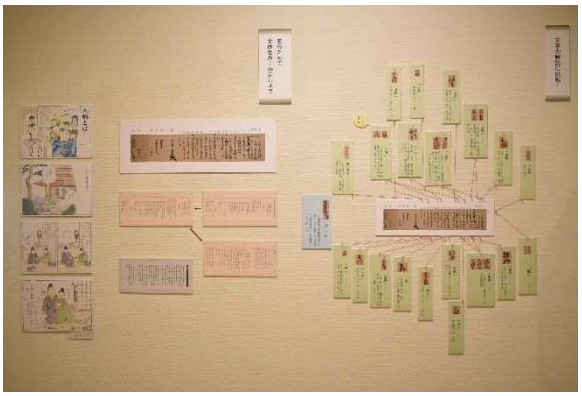
「楽しくなる古文書展」の展示は（美術工芸展示室）は、並行作業となった常設展示室の「もよう替え」と同じ考え方で取り組んだ。展示品を絞り込み、史料それぞれに事項解説、釈文、読み下し、解説文を置いた。言葉の説明には理解を助けるためのマンガも用いた。また、歴史の舞台となった現地の情報も写真パネルで展示し、行動の広がりにつながるような働きかけを行った。

古文書に書かれている文字でも、それを読めない人からみれば、その文字は不可解な「記号」と同じである。書かれているものを記号ではなく魂の入った「言葉」として理解してもらうこと、そしてそれが少しでも読めるようになる快感を味わい、縁遠い古文書が少しでも生々しく感じ「自分化」してその世界に入りたくなる展示をねらった。また、古文書から、関係する場所の情報５か所を写真で紹介し「歴史の舞台」を実際に訪れてみたくなるような展示をおこなった。

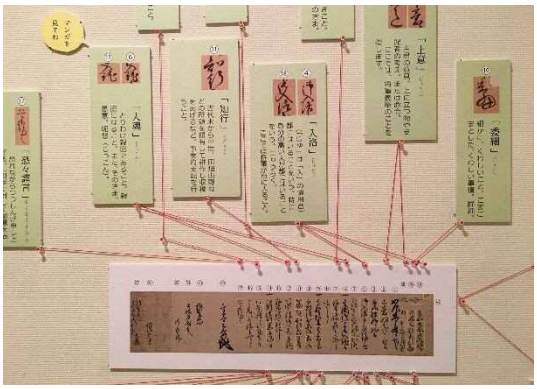
（『紀要 2020』原稿に一部加筆修正したもの）

［写真１　展示全体］

［写真２　導入部の吹き出し］



［写真３　事項解説とマンガ］



［写真４　事項解説拡大］

［写真５　歴史の舞台］

［写真６　古文書パズル］

【アンケート結果】　（全 43 枚）

選択設問から

①展示の資料・作品の見やすさ（配置、明るさ、空間など）にご満足頂けましたか？

・満足	31
・ほぼ満足	9
・ふつう	2
・やや不満	1
・不満	0
計	43

②展示の資料・作品の分かりやすさ（解説、説明、パネルなど）にご満足頂けましたか？

・満足	34
・ほぼ満足	7
・ふつう	1
・やや不満	1
・不満	0
計	43

③展示の資料・作品から満足感（感動、発見、知的刺激など）が得られましたか？

・満足	33
・ほぼ満足	7
・ふつう	1
・やや不満	1
・不満	0
計	42

④この展示を他の人に伝え、来館をすすめたいと思いますか？

・大いに	33
・少し	5
・どちらともいえない	4
・あまりすすめたくない	0
・すすめたくない	0
計	42

自由記述から

・詳しい解説をありがとうございました。資料を市民ミュージアムに寄贈された森氏についての説明が欲しかったと思います。丹波や紀伊に出された光秀の文章がなぜ美濃加茂市にあるのか森コレクションの経緯で説明出来ると思いました。
・当時の武将はどのような教育を受けてこのような字を書き、読めるようになったのか疑問がわいてきました。
・もう少し価格を上げてもよいので展示品を増やしてほしい。
・古文書の解説、わかりやすさ、親しみやすさ、パズル、マンガなどとても良い展示で工夫されていて感心しました。こんなに良い展示もっと沢山の人が見に来れたらよいのに・・フォーラム中止残念でした。
・今回の企画展の 4 月楽しみにしていましたが、時期がずれても、年末年始に観られてよかったです。ありがとうございました。
・渡辺大門氏の講演会是非実施してください。
・日本語で書かれているはずなのに、文字が読めない（１つの単語がどこからどこまでなのかすらわからない）、本物を見ないで解説読んでわかった気になる。読めないから覚えてなくて、どれを見たかもわからなくなる。そんな接し方をしてきた古文書を、崩し文字のパズルや拾い上げた語句の解説や意味を知ることで、１つ１つの語句に向き合うことができました。
・目が慣れてくると、それまで、ちんぷんかんぷんだった文書の中に分かる部分ができてきて、それをとてもうれしく感じることができました。１つ１つ向き合うと１日では足りない位のボリュームがある展示でした。「むつかしい」のイメージから少しでも「楽しくなる」ように、との願いが伝わってくる展示でした。むつかしいは、足が遠のく１つの原因になってしまうけど「たのしい」思いは足を運ぶきっかけになるはずなので、博物館そのものへのイメージも「むつかしい」、「かたくるしい」から「たのしい」になると良いです。また来ます。
・係、関係者の方は大変でしょうが、近場でこのような場。ありがたいです。
・ほぼ文字ごとに解説のパネルがあり、初心者にはわかりやすいのではと、感じた。逆に言えば、解説文がなければまったくというほど、読めなかった。
・今まで訪れた博物館でこれほど懇切丁寧に展示物を解説しているところはなかったと思います。
・マンガによる語句解説わかりやすくてよかったです。
・博物館による展示の仕方を教えてもらった思いがします。
・展示物を絞り、解説を丁寧にほどこされていて、内容がすんなりと頭に入るかんじでした。
・展示の仕方には頭が下がりました。
・一つ一つの説明がとってもわかり易く、二回目ですが来てよかったと思いました。館長さんのご説明をお聞きすることが出来て、前回わからなかったのがかなり知ることがうれしく思いました。
・今回の展示は古文書の意味・歴史的背景等、大変平易な解説があり、とても楽しく勉強させていただきました。
・とても丁寧な説明、展示の仕方で楽しかったです。数点ずつでいいので年間通じてみたい。他のもみたい。書状のよみかた・見方の講座があっても楽しいかも。
・もっと広報すればたくさんの人が来場すると思います。（わたしのまわりはほとんど知らなかったので…）
・４点の書状に対して非常に詳しく書いてあり、とても見ごたえがありました。４点というサイズ感がじっくり見れてよい。現代語訳についても素人にはとてもわかりやすく、色々な解釈がありながらも、つけていただけでありがたい。ぜひ、他の古文書についてもおりをみて展示して頂きたいです。
・古文書の為、現物のすぐ横に現訳文があったほうが良い。